



## 1学期最後の全校朝礼、実施できず！

今年7月16日（月）が海の日で祝日となるため、7月9日が1学期最後の全校朝礼でした。しかし西日本は豪雨による被害が大きく、それに伴い倉敷市内の幼・小・中学校も臨時休業となりました。保護者の皆さんには、度重なる連絡メールに素早く対応していただきありがとうございました。被害にあわれた皆さん、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。1日も早い復旧に向け、協力していきたいとも考えております。

さて、全校朝礼では、校長の話、今週のめあて、委員会からの連絡など、全校児童へ向けてのメッセージを発信しています。他校の場合、校長の講話は月初めの1回だけが多いのですが、味野小は月に2回から3回ほどあります。毎回楽しみながら、そして、少し苦しみながら話をしていきます。また、第4月曜日は音楽朝礼を行っています。昨年度のこの回では、「私の発明工夫」について体験談を話しましたが、今年は、5年生が国語で詩の暗唱をしている姿を見て「暗唱について」の話をする予定でした。

アメ マ  
雨ニモ負ケズ 宮沢賢治（みやざわ けんじ）  
アメ マ カゼ マ  
雨ニモ負ケズ 風ニモ負ケズ  
ユキ ナツ アツ マ  
雪ニモ夏ノ暑サニモ負ケヌ  
ジョウフ  
丈夫ナカラダヲモチ  
ヨク  
欲ハナク  
ケツ イカ  
決シテ瞋ラズ  
イツモシズカニワラッテイル  
イチニチ ゲンマイヨンゴウ  
一日ニ玄米四合ト  
ミソ スコ ヤサイ  
味噌ト少シノ野菜ヲタベ  
アラユルコトヲ  
ジブンヲカンジョウニ入レズニ  
ヨクミキキシワカリ  
ソシテワスレズ （以下略）

「雨ニモ負ケズ」は、学級担任していたときに子どもたちと一緒に覚えました。子どもたちが覚えているかどうかをチェックするときに、こちらが覚えていないとチェック

できないからです。さて、今もまだ覚えているでしょうか。担任をしなくなって早や10年になりますが、自分への挑戦の意味も込めて、子どもたちの前で暗唱してみようと計画していました。

## ○論語の中には、生きるヒントがたくさんつまっている！

### 常に学び続けよう！

「<sup>ふる</sup>故きを温ねて<sup>あた</sup>新しきを知る、<sup>し</sup>以って師と為るべし。」

（古いことに習熟してさらに新しいこともわきまえてゆくなら、人の師となれる。）

「<sup>まな</sup>学んで思わざれば<sup>おも</sup>則ち<sup>すなわ</sup>罔し。思<sup>くら</sup>うて学ばざれば<sup>おも</sup>則ち<sup>まな</sup>殆うし。」

（学んでも考えなければ、ものごとははっきりしない。考えても学ばなければ、独断におちいって危険である。）

### 本当の思いやりとは！

「<sup>こうげん</sup>巧言令色、<sup>すく</sup>少なし<sup>じん</sup>仁。」

（他人に対しては、誠実に振る舞うことが思いやりというものだ。）

岡山県教育委員会は、平成26年に「論語章句集」を作成しました。岡山県は、江戸時代から庶民の教育に力を入れてきました。そのシンボルが旧閑谷学校です。私たち大人が、伝えられる範囲で、岡山県の歴史・文化・伝統のすばらしさを伝えていきたいものです。また、人として大切な心・態度も伝えていきたいものです。

## ○昔の人の知恵と音読・暗唱

上記の論語の言葉もそうですが、私は、昔の人の知恵に学ぶ点が多々あると思っています。たとえば「おばあちゃんが膝の上に指で文字を書いている姿」や「覚えたことを小さな声で反芻している姿」など。指と声を合わせると記憶が定着しやすくなります。

「1年生が大きな声で唱えている口の補数(10になる組み合わせの数)」「2年生で覚えた九九」は大人になっても誰もが世話になっているはずです。

音読は、私たち大人が子どものころからよく行われてきました。最初はたどたどしい読み方しかできなかったけれど、声に出して毎日練習すると、次第に覚えてすらすらと言えるようになります。それが心地よくなり、練習が楽しくなった経験もあるでしょう。

子どもたちには、いくつになっても、音読・暗唱の楽しさを味わってほしいと願っています。もちろん、大人の皆さんもどうぞ。